

また落下！！ - 西日本防災システム

2013 12 18

福井県あわら市北潟にある電源開発子会社ジェイウインドの風力発電所1基で、羽根の先端部が落下していたことが18日判明したようです。この事故によるけが人などはなかったようです。

事故があったのは、あわら北潟風力発電所の6号機で、羽根1枚の先端が破損し、欠けた部分が落下しているのが16日に見つかったそうです。関係者によりますと、落下したのは落雷から羽根を保護するために設置された金属製の受雷部で、長さが30～40cm程度の部品だそうです。

同発電所は同型の風力発電が10基あり、いずれも出力2千Kwで合計の年間電力量は約3840万Kw時(一般家庭約1万1千世帯分に相当)だそうです。支柱の高さは約75m、風車は直径約80mで最大到達点は約120mだそうです。2011年2月から営業運転しています。

県内では今月1日に福井市の北陸電力国見岳風力発電所2号機で火災が発生し、直径52メートル、重さ12・6トンの羽根3枚が落下する事故が起こったばかりでした。

前回の落下事故 [参考](#) [NEWS](#) ➡



西日本防災システム

NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ ➡